

スタッフ通信 3

またまた新型コロナウイルスの話

「オミクロン株」は弱毒化したのかもと言われていても感染力は倍増！と先月に書いていました。

今度は「Ba.2」別名「ステルスオミクロン」・・・戦闘機のようなやつですよ！

人類はあとどのくらいこのウイルスのご乱行に付き合わなくてははいけないのでしょうか？

世界中のいろんな人がいろんな事を言って、何が本当なのかもわからない。

ただ毎日感染者数が発表されて重症者数・死者数・・・病床使用率など数字が飛び交っていますね。

誰でも健康でいたいと願っているのに、穏やかに暮らしていきたいと思っているのにまだまだそれも許されないのでは

しょうか？あと何回、恐る恐るワクチン注射を打たなくてははいけないのでしょうか？

なんて自分の頭の中がグルグルしています。

文句ばかり言っていたらいけないですよ。

で、ちょっと調べてみました。

先述の「ステルスオミクロン」もそうですが、コロナ禍で変化していく呼び方があります。

【エッセンシャルワーカー】です。

皆さん以前からご存知でしたか？

世の中には私達が生活していく上で「必要不可欠な仕事」が多数あります。食料品を買う為にはスーパーに

行きますが、そこで働く方々や食料品を運ぶ運送業の方も必要です。

実際に感染者や感染が疑われる方と接触する医療従事者の方、身体接触のある介護に携わる方等、様々な場

面で「必要不可欠な仕事」があります。

そういった「感染リスクがある中でも、私達の生活を維持するために現場で働き続けなくてはならない方々」への感謝・敬意を込めて「エッセンシャルワーカー」という名称が使われるようになったそうです。

（英語で「essential worker」は「essential（必要不可欠）」と「worker（労働者）」を組み合わせた言葉）

日本でも緊急事態宣言が発出され、テレワーク・リモートワークと呼ばれる在宅勤務が推奨されました。

しかし、世の中には「在宅での仕事が不可能な仕事」が多数存在しています。

以前はブルーカラー（現場で働く肉体労働者）／ホワイトカラー（オフィス内業務）といった名称で分けて呼ばれる場合もありましたが、多くの人と接する業務に携わる方々は常に感染リスクを背負うこととなります。

そういった中でも私達の生活を守るために働き続けている方々への感謝・敬意を込めて、呼び名が変化していきました。

世界各国の首脳がエッセンシャルワーカーに相次いで敬意を表したこともあり、注目されるようになりました。

また、東京オリンピックの開会式でもエッセンシャルワーカーの方が担当される場面があり、より知られるようになりました。

身近な方がエッセンシャルワーカーの方も多いと思います。

過酷な勤務状況であることも容易に想像できます。それを支えているご家族の方なども同じですね！

どうか、お体に気を付けてください。

そしていつもありがとうございます。

エッセンシャルワーカーとして働く方への敬意・感謝を込めて！

